

<カレンダーベース市中発行額>

(単位:兆円)

区分	令和2年度当初				令和2年度1次補正後				令和2年度2次補正後								
	(1回あたり)		(年間発行額; a)		(1回あたり)		(年間発行額; b)		(1回あたり)		(年間発行額; c)		(c)-(a)	(c)-(b)			
40年債	0.5	×	6	回	3.0	0.5	×	6	回	3.0	0.5	×	6	回	3.0	—	—
30年債	0.7	×	12	回	8.4	0.7	×	3	回	9.3	0.7	×	3	回	10.2	1.8	0.9
20年債	0.9	×	12	回	10.8	0.8	×	9	回	11.7	0.9	×	3	回	13.5	2.7	1.8
10年債	2.1	×	12	回	25.2	1.0	×	9	回	27.0	2.1	×	3	回	29.7	4.5	2.7
5年債	1.9	×	12	回	22.8	2.3	×	9	回	24.6	1.9	×	3	回	28.2	5.4	3.6
2年債	2.0	×	12	回	24.0	2.1	×	9	回	27.6	2.0	×	3	回	33.0	9.0	5.4
割引短期国債					21.6					37.0					82.5	60.9	45.5
10年物価連動債	0.4	×	4	回	1.6	2.0	×	3	回	1.2	0.2	×	4	回	0.8	▲0.8	▲0.4
流動性供給入札					11.4					11.4					11.4	—	—
計					128.8					152.8					212.3	83.5	59.5

(表1) 割引短期国債の年限別発行予定額

年限	令和2年度当初 (a)		令和2年度1次補正後 (b)		令和2年度2次補正後 (c)		(c)-(a)	(c)-(b)									
	(1回あたり)	(年間発行額)	(1回あたり)	(年間発行額)	(1回あたり)	(年間発行額)											
1年	1.8	×	12	回	21.6	1.8	×	3	回	27.0	1.8	×	3	回	36.9	15.3	9.9
6ヵ月					10.0					45.6					45.6		35.6

(表2) 流動性供給入札のゾーン別発行予定額

区分	令和2年度当初 (a)		令和2年度1次補正後 (b)		令和2年度2次補正後 (c)		(c)-(a)	(c)-(b)
	(1回あたり)	(年間発行額)	(1回あたり)	(年間発行額)	(1回あたり)	(年間発行額)		
15.5年超 39年未満		3.0		3.0		3.0	—	—
5年超 15.5年以下		6.0		6.0		6.0	—	—
1年超 5年以下		2.4		2.4		2.4	—	—

(注1) 市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や発行状況に応じて、年度後半の発行額を変更する可能性がある。

(注2) 40年債については、5月・7月・9月・11月・1月・3月の発行を予定している。

(注3) 割引短期国債は、政府短期証券と合わせて国庫短期証券として発行しており、表1の年限区分・発行額で発行することを想定しつつ、市場環境や投資ニーズに応じて、柔軟に年限区分・発行回数・発行額を調整。

(注4) 10年物価連動債については、5月・8月・11月・2月の発行を予定し、市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や投資ニーズに応じて、柔軟に発行額を調整。

(注5) 流動性供給入札については、表2のゾーン区分・発行額で行うことを想定しつつ、市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や投資ニーズに応じて柔軟に調整。

(注6) 利付債の表面利率の下限の引下げについては、令和3年4月を目途に実施予定。